



イセエビ 生息北限が北海道?



イセエビの幼生

東京海洋大の研究グループは、北海道函館市の昆布養殖施設に付着していた「イセエビ型の稚エビ」を調査分析したところ、形態学、遺伝子学的にイセエビであると断定しました。同大は海水温の上昇によるイセエビの分布域が北上している可能性を示唆するものとしています。昨今、海水温の上昇で生物の分布域の変化が顕著。イセエビに関しては福島、岩手でも全域で漁獲されるようになってきました。今回の見つかった稚イセエビは海流によって流されてきたと考えられ、恐らく越冬は出来ないだろうと考えられています。

イクラ高値警戒



いくら採み

9月に始まる北海道秋サケ漁を前に国内イクラ在庫は推定800トンとされています。本年の道秋サケ来遊予測は前年比で36%減と見込まれています。近年の魚体の小ぶり傾向から、漁獲量はかつてない減産が想定されるそうです。また、米露産も伸び悩みの予想。輸入量も先が見えず、生産者は慎重な対応。イクラの高値推移は続きそうな気配です。

入荷状況 & 商品情報



いよいよ、**9月1日(月)より底引き漁が解禁**となります。店頭には**2日(火)から**商品が並びます。調査によると今年もアマエビは潤沢に供給される見込みですが、今後3年以降からは漁獲量が減少する可能性があります。

●底引き網漁

解禁で魚種も増えてきます。甘エビ、ガスエビ、シマエビといったエビ類、毛ガニ、カレイ類、メギス、ミズウオなど。(写真は左上から時計回りにアマエビ、ガスエビ、ミズウオ、メギス)

9月の主な魚種

甘エビ
シマエビ ◎
ガスエビ ◎
赤カレイ
ササカレイ
ハチメ
メギス ◎
ミズウオ ◎
ハタハタ

